



iLO ファームウェアアップデートに関する補足

本書は、Starter Pack にて iLO ファームウェアをアップデートするときの注意事項などについて説明します。
本説明文を最後までよく読み、適切に対処してください。

- 本 iLO ファームウェアを適用後に .NET IRC を使用する場合は、.NET Framework をバージョン 4.5.1 以降に更新してください。更新していない場合、アプリケーション起動時に例外が発生することがあります。
- 本 iLO ファームウェアを適用後、[情報]-[セキュリティダッシュボード]および右上に  リスクが常に表示されます。RBSU や iLO の設定の状態によっては、iLO セキュリティのステータスに  リスクが表示されますので、お客様のセキュアポリシーに応じてセキュリティの対処をお願いします。推奨値等の詳細は、iLO 5 ユーザーズガイドを参照してください。
なお、iLO の負荷の状態により、[情報]-[セキュリティダッシュボード]の”全体セキュリティステータス”が『リスク』であっても、iLO Web インターフェース画面の右上部の”iLO セキュリティ”アイコンが無色になる場合があります。[情報]-[セキュリティダッシュボード]の”全体セキュリティステータス”が現在のセキュリティ状態を示します。
- 本 iLO ファームウェアを適用後、iLO 拡張ライセンスがインストールされている場合に、[セキュリティ]-[アクセス設定]-[アップデートサービス]-[ダウングレードポリシー]の設定で、「ダウングレードを永遠に不許可」へ設定しないでください。
この設定に変更してしまうと、iLO インターフェースや各種ユーティリティからも、この設定を変更することができなくなります。また、BMC 構成ユーティリティの[工場出荷時のデフォルトにセット]オプションにて、iLO を出荷時のデフォルト設定に設定しても、設定はリセットされず、「ダウングレードを永遠に不許可」を維持します。
- [セキュリティ]-[アクセス設定]-[iLO]の[ホスト認証が必要]を[有効]に設定した場合、次に示す事象が発生します。
 - ESMPRO/ServerManager のアラートビューアに、“Remote Insight/Integrated Lights-Out 認証されないログイン試行検出”のメッセージが多数表示されます。
 - Standard Program Package(SPP)を適用するとエラーが発生します。また、次のサービスや機能をご利用頂けません。
 - エクスプレス通報サービスにおけるハードウェア障害に関する通報
 - RAID 通報サービス
 - サーバー診断カルテのハードウェア診断機能iLO が収集するハードウェアに関するデバイス情報や設定情報の参照、及びイベントログ採取機能

改版履歴

初版 2021/02/19 iLO ファームウェア 2.31 までに対応